

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201232	ファッション造形学 Clothing Construction	平岩 暁子	専門	2	選択	2年 前期

科目の概要

衣服は人体に最も近い距離にあり、人が着装することにより完成する。このため、衣服の形の美しさは複雑な人体の形状に衣服をどのように合わせるかによって決まる。この科目では人体形状の特徴を知り、採寸やパターン作成の理論について理解する。和服と洋服の衣服構成法の違いや、年齢による体型の変化に合わせた衣服の条件についても理解する。

学修内容	到達目標
①人体の形状についての特徴や年齢差、男女差、動作による変化を知る。 ②衣服構成法の種類、洋服パターン作成の理論について知る。 ③和服の構成法、洋服との違いを知る。 ④子供のための衣服について考察する。	①体型の特徴について年齢差・男女差の面から説明することができる。 ②平面構成法、立体構成法およびパターン作成の理論について説明することができる。 ③和服の特徴、洋服との違いを説明することができる。 ④子供のための衣服デザインを考えることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題を理解するのに必要な知識について、配布プリントを読み、文献等を調べて、自分で学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	必要な学修の内容や方法を自分で考えて、目標のレベルまで到達できる。
考え抜く力	課題発見力	プリントや文献等を読み、情報を整理して衣服に関する課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	衣服の形についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現し、ディスカッションできる。
	傾聴力	発言者の意見を正確に理解し、自分の考えもまとめることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話を触るなどをせず、ルールを守った行動ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『新版アパレル構成学』、高橋知子他、朝倉書店、(2012) およびプリントを適宜配布する。
参考文献：『衣服製作の科学』、松山容子編、建帛社、(2007)

他科目との関連、資格との関連

「被服実習Ⅰ」での実習経験をもとに学修を進める。この講義で得た知識を「被服実習Ⅱ」における実技面に活かす。

学修上の助言	受講生とのルール
毎回、小テストを行うので、ノートを整理し、内容を理解する。衣服の理論とデザイン、そして着心地がどう結びつのかを考えながら講義を聞くこと。	授業で配布する資料の予備は、次週まで保管する。授業内容の小テストを次週実施するので、毎回復習しておくこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	70	①	✓	各年齢段階での体型の特徴について説明することができるか。 衣服の形がどのように構成されているか説明できるか。 和服の特徴、洋服との違いを説明できるか。 子供や高齢者、障がいのための衣服にはどのような配慮が必要か説明できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト	10	①	✓	毎回の小テストでは、その授業時間に扱った内容を、十分に理解できているかどうかを確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	子供のための衣服デザインを考え、発表する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(規律性)・受講態度(遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど)は減点する (主体性)・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 (実行力)・目標まで到達しようという努力の姿勢を小テストで評価する。 (課題発見力)・衣服に関する課題を発見できているか、授業態度で確認する (創造力)・自分なりの方法を考え、実行しているか、授業態度で確認する。 (発信力)・グループディスカッションで内容を確認する。 (傾聴力)・授業態度やグループディスカッション、発表の聴講態度などで確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論について十分に理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴を説明できる。子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についても正確に知っており、衣服デザインの提案ができる。</p> <p>※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)とする。</p>	<p>人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論についておおよそ理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴、子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についても知っているが正確でなく、衣服デザインの目的が少し外れている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	衣服の起源、衣服の機能(保健衛生的機能と社会的機能)について知る	講義	衣服の起源や機能の内容をまとめることができる。	(予)シラバスを読み、内容を把握してくる。 (復)衣服の機能の復習。	120	主体性 実行力 課題発見力
2週 /	気候と衣服の形、着心地について考える。素材と形、衣服気候について理解する。	小テスト+講義	衣服の着心地に関わる因子が分かる。	(予)小テストの準備 (復)衣服の着心地に関わる因子をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力
3週 /	平面構成法・立体構成法の特徴について、民族衣装を例にして考える。	小テスト+講義	平面構成と立体構成の差を説明できる。	(予)小テストの準備 (復)平面構成法・立体構成法の差をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力
4週 /	平面構成衣服である和服の特徴を知り、1/10のミニ着物を紙で制作して、洋服との構成法の違いを確認する。	小テスト+講義+1/10ミニ着物作り	1/10のミニ着物を完成し、和服の各部位の名称が分かる。	(予)小テストの準備 (復)和服と洋服の形の違いを復習する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造性
5週 /	和服の裁断法、縫い方の特徴などを知る。 和服がその形状からリサイクルに向いていることについて考える。	小テスト+講義+ディスカッション	和服の裁断法、縫い方の特徴が分かる。	(予)和服のリサイクルに関する記事を調べてくる。 小テストの準備。 (復)和服の裁断法、縫い方の特徴を復習する。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力
6週 /	骨格、関節、筋肉などで構成される人体の構造を知る。 人体計測の方法について知る。	小テスト+講義	人体の構造、人体の計測方法が分かる。	(予)小テストの準備 (復)人体構造、計測方法のまとめ。	120	主体性 実行力 課題発見力
7週 /	着衣する人体 性差と年齢による変化に着目して、体形の変化について考える。①成長期の変化。	小テスト+講義 グループディスカッション	男女の体形、成長期の体形変化について分かる。	(予)小テストの準備 (復)データを読み取る練習をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力
8週 /	②中年齢期、高年齢期の体形変化について考える。 身体測定値の活用とサイズ表記を知る	小テスト+講義 グループディスカッション	中年齢期、高年齢期の体形変化について考える。サイズ表記について分かる。	(予)小テストの準備 (復)洋服のサイズの仕組みを復習する	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	アパレルデザインの種々の要素と過程を知る。 シルエットとディテールについて理解する。	小テスト+講義	デザインの過程、シルエットとディテールについて説明できる。	(予)小テストの準備 (復)着用目的およびシルエットとディテールからデザインを考える。	120	主体性 実行力 課題発見力
10週 /	スカートやパンツの構成原理について学ぶ。洋服のサイズ表示(成人男子・成人女子)の仕組みについて考える。	小テスト+講義	スカートやパンツの原理を説明できる。	(予)小テストの準備 (復)スカートやパンツの原理について復習する。	120	主体性 実行力 課題発見力
11週 /	立体構成衣服の基本形である身頃の原型の特徴(形、ゆとり量)について理解する。	小テスト+講義	原型の特徴について説明できる。	(予)小テストの準備 (復)原型のゆとり、形の特徴を復習する。	120	主体性 実行力 課題発見力
12週 /	袖原型の特徴と、展開によって袖のパターンがどのように変化するか考える。	小テスト+講義	袖の型紙の仕組みを説明できる。	(予)小テストの準備 (復)袖山の高さや袖幅・袖下の関係を復習する。	120	主体性 実行力 課題発見力
13週 /	既製品の生産システムについて知る。品質管理について考える。	小テスト+講義	既製品の生産システムについて分かる。	(予)小テストの準備 (復)身の回りのアパレル製品で品質に問題のあった物がなかったかまとめてくる。	120	主体性 実行力 課題発見力
14週 /	子供のための衣服の条件を考える。実際に子供服のデザインを考える。	小テスト+講義	子供服の条件をまとめることができる。	(予)小テストの準備 (復)子供服のデザインを考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造性
15週 /	子供服のデザインを発表する。	発表 +ディスカッション	子供服のデザインを提案できる。	(予)子供服のデザインを完成してくる。 (復)全体の振り返りと考察をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 聴講力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力